

魅力ある人を育て 新しい価値を創造し続けるまち大槌



概要版

第9次大槌町総合計画 2019～2028

岩手県大槌町



計画策定の趣旨と構成

第9次大槌町総合計画は、平成30年度末に「大槌町東日本大震災津波復興基本計画」の計画期間が終了となるため、その後継として策定するものです。本計画は町民憲章を踏まえ、町民と行政との協働により、持続可能なまちづくりに向けて着実に進んでいくための総合的な指針となるものです。

区分	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
基本構想	基本構想（10年間）									
基本計画	前期基本計画（5年間）					後期基本計画（5年間）				
実施計画	3年間単位で1年ごとのローリング									

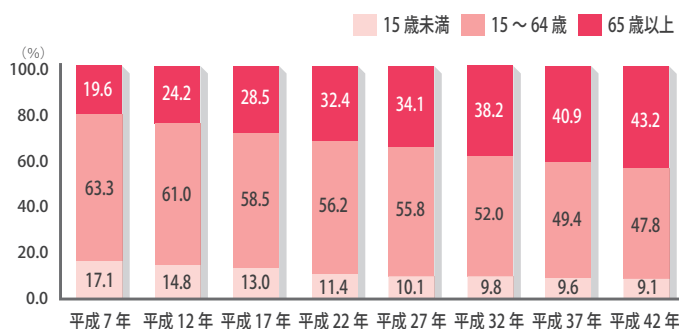
- **基本構想** 町の将来像を達成するための町行政の使命などを示す
- **基本計画** 町の基本的施策を定め、その主要課題、施策の展開方針などを明らかにする
- **実施計画** 基本計画で定められた基本的施策について、具体的な事業の内容を明らかにする

町を取り巻く社会動向

3区分人口割合の推移

大槌町の高齢化率は平成27年は34.1%で、平成42年には43.2%となり、高齢化が今後も進行することが予想されています。

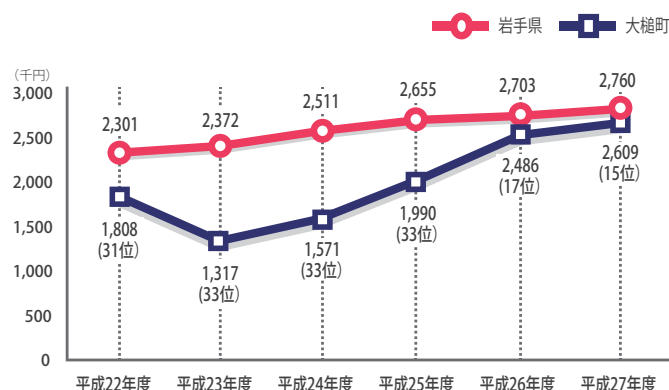
また、平成27年の大槌町の15歳未満の年少人口割合は10.1%で、岩手県の11.9%、全国の12.6%よりも低い状況にあります。平成42年には9.1%となり少子化が進行すると予想されています。



一人当たりの市町村民所得と県内順位の推移

震災前には1,800千円から1,900千円程度を維持してきましたが、平成23年度には急激に落ち込み1,300千円台となりました。県内市町村における一人当たりの市町村民所得の順位も、震災後の平成23年度から平成25年度までの3年間は大槌町が最下位となっています。

しかし、平成27年度には県内順位も15位まで上昇し、復興とともに町民所得は順調に向上しています。



基本構想

基本理念

魅力ある人を育て 新しい価値を創造し続けるまち大槌

- 大槌町独自のにぎわいを創出するとともに、人との繋がりを大切にしたい。誰もが安心して暮らせるまちを目指します。
- 町民一人ひとりがお互いを大切に、育て合い、新たな視点で地域の魅力を創造するとともに、生活の基盤となる産業の活性化を最優先に進めます。
- 着実な復興に向け社会生活、教育文化、空間環境に関する施策についても効率的・効果的に実践します。
- 豊かな自然、先人たちが磨いてきた文化を感じることで、大槌町で生活することに誇りを持つ価値観を醸成します。

計画の推進に当たって

計画の推進に当たっては、様々な主体との連携を基本とした協働の取組を実践し、まちの魅力向上を目指します。町民と行政との協働によるまちづくりを進めるために、行政経営の主体である行政は、地域経営の「まとめ役」となって使命を果たしていくべきであると考えます。

行政の役割

1. 行政が持つ情報を分かりやすく積極的に町民に公開し、協働の基礎とする。
2. 地域活動、民間活動が自立・維持できるよう育成・支援する。
3. 持続可能な財政運営を実現する。

町民においては、「自治」の視点に立ち、町民が主体的に活動し、地域の中でお互いに協力し合いながら、積極的にまちづくりに参画していくことが重要と考えます。

また、様々な公共サービスについて、行政からの提供を待ち受けるだけでなく、NPOや一般事業者によるサービス提供を選択・活用する姿勢も必要になると考えます。

町民に期待すること

1. 行政の取組に積極的に参加し、住みよい町を協働でつくる。
2. 互いに協力しながら、自立的な自治組織を構築し、持続的な地域運営を実施する。

基本計画

産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり

基本方針

1

基本施策

主な取組

1. おおつちの自然を活かし、
継承する一次産業の実現

- ① 生産性の向上及び安定収量の確保
- ② 生産から、流通・販売までの一貫したスキーム強化
- ③ 第一次産業の担い手の確保・育成
- ④ 森林、農地、漁場などの環境整備

2. 働きやすく、骨太な
おおつちの商工業の推進

- ① 商工業の経営基盤強化
- ② 働き手の確保に向けた雇用対策の推進
- ③ 人材育成と事業承継支援（略）
- ④ 企業誘致の促進と生産拠点の強化
- ⑤ 産官学連携による新事業育成の支援

3. おおつちらしい
観光物産戦略の展開

- ① 海を活用したコンテンツの活用（略）
- ② 食のブランディング（略）
- ③ 伝統芸能・文化による誘客促進（略）
- ④ 景観を活用した周遊と魅力発信（略）
- ⑤ 受入体制整備とファン拡大（略）



おおつちの特産品
ピーマンとピーマン味噌



海の
観光コンテンツ

健康でぬくもりのあるまちづくり

基本方針

2

基本施策

1. 地域福祉の推進

- ① 福祉サービスの充実
- ② 地域福祉を支える体制づくり

2. 子育て環境の充実

- ① 子育て環境の充実
- ② 安心して出産・子育てができるための支援の充実

3. 健康づくりの推進

- ① 健康寿命の延伸
- ② こころの健康づくりの推進

4. 高齢者支援の推進

- ① 健康増進・介護予防・社会参加活動の推進
- ② 地域で安心して暮らし続けるための環境の充実
- ③ 認知症施策の総合的な推進
- ④ 地域で支え合う仕組みづくり

5. 障がい福祉の推進

- ① 障がい者（児）の生活支援の充実
- ② 障がい者（児）の就労支援の充実

6. 医療の充実

- ① 地域医療の充実
- ② 医療保険制度等の充実



保育園で遊ぶ
子どもたち



運動教室の様子

学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり

基本方針

3

基本施策	主な取組
1. 生涯を通して つながる学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 幼保小中高と地域の一貫した教育の推進 ② 地域主体の公民館及び集会所等における活動等の推進による地域づくり
2. 地域へと広がる 魅力的な学びの場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域を舞台とした魅力的な高校教育実現に向けた協働 ② 学校・家庭・地域・行政・子どもが一体となった学校運営の実践 ③ 学びを支える放課後学習の保障(略)
3. 町民の学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 国際交流の促進 ② 芸術文化・スポーツ・読書活動等の推進と環境整備の充実 ③ 郷土の文化に触れる機会の充実(略)
4. 学ぶ環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ① 安全・安心な教育環境の整備 ② 教育関係者の意欲向上と人材育成に資する環境の整備 ③ 学ぶことのできる機会の保障(略)
5. 震災伝承による 防災文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災学習の推進 ② 震災伝承に関する啓発活動の推進 ③ 「追悼・鎮魂」の想いの継承



ふるさと大槌学講座の様子



大槌学園で実施された「ふるさと科」

安全性と快適性を高めるまちづくり

基本方針

4

基本施策	主な取組
1. 災害に強い まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災、減災対策の充実 ② 自主防災組織の活性化による地域防災力の向上 ③ 防災訓練の効果的な実施 ④ 消防防災体制の強化
2. 良質な自然環境の保全と 環境衛生の向上	<ul style="list-style-type: none"> ① 地球温暖化対策の推進 ② 循環型社会形成の推進 ③ 斎場施設の整備と管理
3. 快適な住環境の実現	<ul style="list-style-type: none"> ① 良質な住環境の形成 ② 防犯・安全の推進 ③ 新技術に対応する情報基盤の整備(略) ④ 安全で安心な水道水の安定供給 ⑤ 水洗化の促進と効率的な汚水処理
4. 利便性の高い 交通ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ① 道路環境の適正な維持管理 ② 道路交通網の充実 ③ 公共交通網の充実



6月の新山高原と風車



消防演習

基本方針

5

将来を見据えた持続可能なまちづくり

基本施策

主な取組

1. 協働による地域・まちづくりの推進

- ① 地域づくり団体の形成・活動支援
- ② Uターン者の促進
- ③ 広報・広聴の推進
- ④ 男女共同参画社会の推進

2. 健全な財政運営の推進

- ① 行財政運営の効率化
- ② 公有財産の適正な管理
- ③ 自主財源の確保

3. 成果を重視した行政運営の構築

- ① 成果を重視した行政運営の推進
- ② 人材育成の推進
- ③ ICTの活用による業務の効率化
- ④ 広域行政の推進



大槌町役場職員研修



コミュニティ協議会の様子

未来につなげる着実な復興まちづくり

基本方針

6

基本施策

主な取組

1. 事業者の本設再建と産業の再生

- ① 被災事業者の本設再建に向けた支援
- ② 復興に向けた雇用対策の充実

2. 支え合い誰もが暮らし続けられる地域社会づくり

- ① 仮設住宅から復興市街地への移行支援
- ② 被災者の生活再建支援
- ③ 復興市街地におけるコミュニティの再生

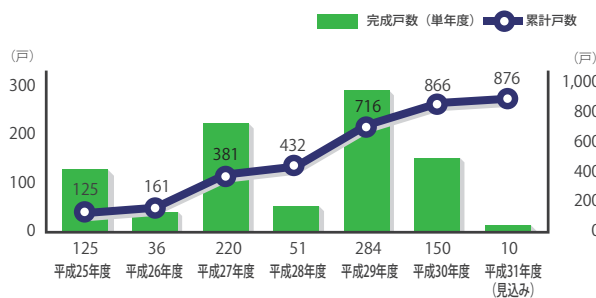
3. 未来の大槌人の育成／文化の再生と知の継承

- ① 被災した地域施設の再生と多目的な活用
- ② 防災文化を継承し、自然・文化を再生する町民活動の展開(略)
- ③ 子どもたちが安心して学べる環境づくり

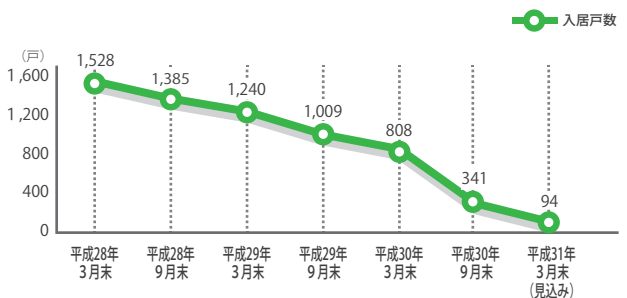
4. 魅力ある持続可能なまちづくり／地域資源としての風景の再生

- ① 減災・情報伝達・避難・救援活動等に配慮した復興市街地づくり
- ② 災害への耐性、環境への配慮、長期的維持管理の視点を導入した社会基盤・公共施設の整備

災害公営住宅完成戸数（単年度）と累計戸数の推移



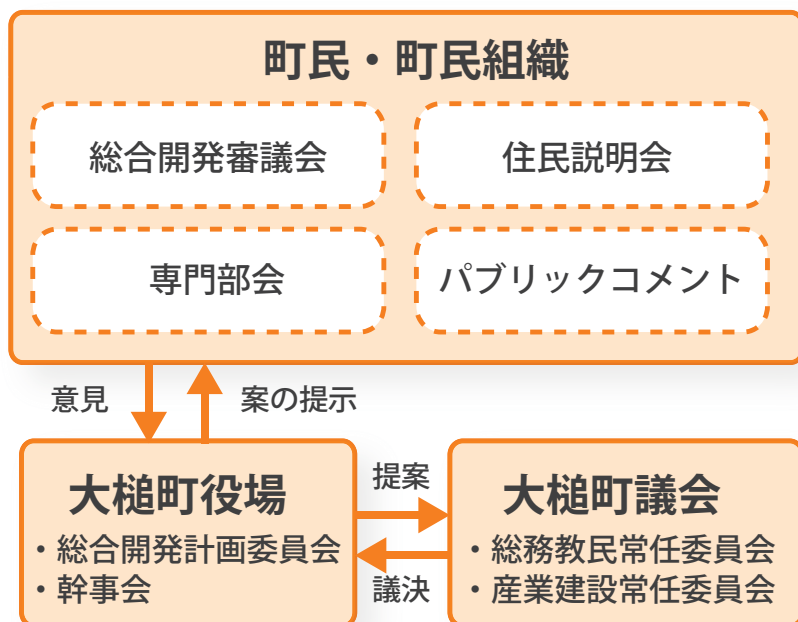
応急仮設住宅入居戸数の推移



計画策定経緯

策定組織の概要

庁内組織の総合開発計画委員会、幹事会で素案を作成し、町民・町民組織として位置付ける「総合開発審議会」、「専門部会」、「住民説明会」、「パブリックコメント」等からの意見を反映しながら進めました。



専門部会の様子



住民説明会の様子

町民・町民組織の参画経緯

年	日程	項目	摘要
平成 30年	2/20	第1回総合開発審議会	審議会の設置、委嘱、策定概要についての説明
	3/26	第1回総合計画策定専門部会	専門部会の設置、委嘱、策定概要説明、意見交換
	5/2-27	町民アンケート調査	町内に住所を有する18歳以上の男女1,500人を対象に実施
	7/28-8/28	町長懇談会	町内の事業者、地域団体、高校生等との意見交換(11回開催 59名参加)
	8/28・30	第2回総合計画策定専門部会	基本計画(案)について意見交換
	10/29・31	第3回総合計画策定専門部会	基本計画(案)について意見交換
	11/6	第2回総合開発審議会	基本構想・基本計画(案)の報告
	11/11-30	住民説明会	町内8会場で実施(98名参加)
	11/10-12/2	パブリックコメント	町内25箇所の設置
平成 31年	1/15	第3回総合開発審議会	基本構想・基本計画(案)の諮問
	1/23	第4回総合開発審議会	基本構想・基本計画(案)の答申

町民憲章（昭和四十八年十月制定）

- 一、自然を愛し自然を大切にしましょう
 - 一、産業を興し豊かなまちをつくりましょう
 - 一、健康できまりある生活をしましょう
 - 一、香り高い郷土の文化を育てましょう
 - 一、安全で住みよいまちをつくりましょう
-

第9次大槌町総合計画 概要版

編集・発行／岩手県大槌町

〒028-1192 岩手県上閉伊郡大槌町上町1番3号

TEL 0193-42-2111

FAX 0193-42-3855